

平成 30 年度 第 2 回 昭島市民図書館協議会
(兼第 1 回子ども読書活動推進計画評価等会議)
会議録 (要旨)

[開催日時] 平成 30 年 11 月 8 日 (木) 18:30~19:40

[開催場所] 昭島市民図書館 2 階 閲覧室

[出席者]

- 1 委員: 真如会長、原田副会長、猪狩委員、渡辺委員、木下委員、
大串委員、本多委員、山川委員、大野委員
- 2 事務局: 山口生涯学習部長、磯村市民図書館長、井上係長、石川係長

[欠席者] 吉野委員、

[議事要旨]

- 1 開会
- 2 生涯学習部長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議題
第 2 回 昭島市民図書館協議会
(1) 平成 30 年度主要事業の進捗状況及び今後の予定について
(2) 教育福祉総合センターの進捗状況について
(3) その他

[配布資料]

- 資料 1 平成 30 年度主要事業の進捗状況及び今後の予定について
- 資料 2 昭島市教育福祉総合センター工事進捗状況
- 資料 3 あきしまの教育
- 資料 4 とうきょうの地域教育

第 1 回 子ども読書推進計画評価等会議

- (1) 平成 30 年度子ども読書活動実態調査について
- (2) その他

[配布資料]

- 資料 5 平成 30 年度子ども読書活動実態調査報告 (保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校)

[発言要旨]

4 議題

第2回 昭島市民図書館協議会

(1) 平成30年度主要事業の進捗状況及び今後の予定について

事務局 ※資料1の説明

会長 意見はあるか。

委員 意見なし

会長 次の議題に移る。

(2) 教育福祉総合センターの進捗状況について

事務局 ※資料2の説明

会長 質問はあるか。

委員 提案、プレゼンは市民に公開しなかったのか。

事務局 プレゼンについては、選定委員会の中で行った。

委員 その選定委員はどのような方々か。

事務局 市職員、学識経験者（大学教授）、財務専門家を含め8名で構成した。

委員 そのような場合は、一般市民を含め、意見を言わないにしても傍聴ができるような場が設けられれば良かった。

プレゼン、質疑がいつあるのかも知らなかったのも、やっていないのかと思っていた。

事務局 募集要項ではプレゼンの日時（2次審査）は明記していたが、プレゼンを公開することを今回はしていなかった。

委員 市ホームページには1次審査の結果が1社しかなかったのも、それですんまり決まってしまったのかと誤解していた。

指定管理者制度に関してはピンからキリまで、とてもひどい状況もあるようだ。そういったことを新聞などで読んだ方は「昭島は大丈夫なのか」とかなり心配していらっしゃると思う。だが、今お話を伺って、きちんとしたところが決まり、いろいろな夢のような提案で安心した。

一般市民の方にも、もう少し違うかたちで公開できたら良かったのではないかと。

事務局 選定に関しては1社しかなかったが、申し上げたとおり、審査は募集要項に則り行い、採点も厳格に行った。募集要項の及第点をしっかり守ったかたちでの採点結果である。

事務局 今、委員から「一般市民の方がわからなかったのではないかと」という話があったが、選定に関しては、広報には出していないが、市ホームページには常に掲載していた。今回、他の事業者はなかったが、仮に他の事業者のお手上げがあった場合を考慮し、結果については事前に公表するというかたちで選定の前に

出していたので、選定結果についても、それほど詳細な公表ではなかったが公表をしている。

「プレゼンも一般市民の方が見られれば良かった」とのご意見をいただいたが、他市の総意を含め「公表しない」ところがどちらかというところも多く、図書館業務だけに限らず、一般的な指定管理者を選定する際に選考委員会を公表しないところも多い。もちろん、敢えて公表するところもある。その市にとって左右するような大きな時には公表することもあるが、私どもはいろいろな事情を考え、公表しないという手段を取らせていただいた。

委員 ここでは市民委員としているが、一方で、市民の多様な要望や希望が反映される場があまりないと、逆に不信感を持たれてしまうのではないかと。

今回に関して、良いか悪いかではなく、きちんと選定がなされたということで私は安心したが「知らない方はどうなのだろうか。」という気持ちはあった。

会長 TRCについては、学校は大変お世話になっていて、素晴らしいところが手を挙げてくださった。いろいろな事業提案をされていて、楽しみであり、しっかりやってもらえればと思う。今おっしゃっていただいたご意見を、ホームページにうまく入れられることがあれば入れていけるといい。

そこはまた工夫していただくということで。

事務局 図書館協議会はまさしく、応募してくださった市民の委員の方、また、皆様のご意見をいただく場になっている。今日、私が紹介したこと等は議事録になり、ホームページに公表する。そういったところでご覧いただくのは一つの手段になるのではとっている。

委員 TRCに決まったことは、これから市議会に通すのか。

事務局 選定の結果自体はホームページに掲載している。

選定の経過は随時ホームページで公表させていただいており、結果も公表している。それを踏まえ、選定後協議し、協定の内容を詰め、それについて12月に指定の議決を行い、指定された後に協定の締結というかたちになる。そのあたりについても今後逐一ご報告をしていく。

委員 広報には「図書館」ではなく「教育福祉総合センター」として載っていた。

ちょっと見過ごしてしまうかもしれない。

事務局 内包されてしまうかたちなので、もしかしたら図書館と思わない方もいらっしゃるかもしれない。

委員 広報を読んで「それ以外の施設もすべて委託になるのか？そんなことはないだろう。」と思ったが、あの書き方は誤解されやすい。

事務局 確かに分かりづらい。そこは工夫をさせていただく。

わかっている方は、あの場所に「新しい図書館ができるんだな。」とご期待を持っていらっしゃるが「あれが何なのか分からない。」という方もま

だいらっしゃる。一応、外側に絵（完成図）を出しているが、もう少しPRしていきたい。

今現在は指定管理「候補者」というかたちである。議決を得て指定管理者に決定するので、指定管理者として決定した暁には、広報にもきちんとお出ししていく予定でいる。

会 長 「新しい図書館ができる」と市民の皆さんがすごく楽しみにしている。今から、市民図書館の利用率、市民の方が「行ってみよう」「活用しよう」というところに結びつくかと思うので、工夫していただけるといい。

委 員 新しい施設の見学予定は12月か。

事務局 12月半ばまでということで調整させていただきたい。

委 員 市の職員と合同か。

事務局 工事現場であるので、度々行けない。ある程度まとまったところで日程を決める。

委 員 対象は図書館協議会委員だけではなく、一般市民も一緒か。

事務局 一般市民はない。市の職員は数名行くかと思う。

委 員 協議会委員が中心か。

事務局 半々くらい。現場で一緒に説明させていただけるような日程で組みたいと思っている。

会 長 工事の進み具合、状況、都合を調整してもらってのことだと思う。

事務局 12月半ばを過ぎると、屋根の工事に掛かってしまい、現場になかなか入りづらくなってしまう。先日、見に行ったが、間取りも何となくわかりイメージが湧いた。

会 長 ご都合のつく方は是非ご参加いただきたい。

委 員 今、お話いただいた提案の中に、私の専門領域である「調べる」話がほとんどなかった。「図書館型調べ学習コンクールに参加」は調べることだが、もっと基本的な何か。専門用語で「レファレンスサービス」と言うが、そこまででなくても、住民の方が図書館に来て、調べて、聞いて、図書館員に訴えたり、紹介したり、いろいろすることが図書館の一つの大きな役割だと思う。その辺の話が全然なかった。

それから、職員の研修はどうなるのか。つまり、指定管理の職員の方、資格をお持ちの方がいらっしゃるだろうが、今の社会の中では、小学校、中学校、高等学校を通じ、「調べる」「アクティブラーニング」が重視されている。来年度から新しい教科書が始まるが、現在の高等学校の教科書では、たとえば、地域の防災計画を見直そう、とか、地球温暖化の高温についてシミュレーションして、どうなっていくのかを調べたり、若年労働者の労働環境について検討したり、今、社会的に非常に課題になっていることをインターネットや文献で調べ、

レポートをまとめようという課題が出ている。やはり、図書館でお仕事をされるなら、それぐらいのことは調べて、ある程度のことは説明できるような、そういうレベルでないとこれからの図書館は困ると思う。

「職員の研修」「調べる」ことについて提案の中で何かあったのか。

事務局 先程の説明は抜粋だったので、全て説明しきれていなかったのは申し訳なかった。提案の中で、レファレンスサービスについても明記されている。問い合わせに答えるのは当然だが、それ以上に利用者教育、自分で調べることができるようになるような教育も含め、利用者に提供していく。いずれは利用者自身がインターネットで調べる力をつけていただく、ということも明記されている。また、要求水準書に、職員の研修もしっかりと様々なものをやるように、と明記してあるので、そこはしっかりとやっていただく。

提案の中でも、たとえば司書の割合というのも要求水準書では60%という部分を付けており、多摩地域で指定管理をしている図書館の中でも多いほうである。50%以上というところがほとんどかと思うが、本図書館では60%くらい確保してほしいとしている。その中で館長、副館長、たとえば児童担当の専門を置き、レファレンスについては、レファレンス対応が出来る職員を貼り付ける、という要求水準にしているので、ランクアップした運営をしていただくようになっている。また、新図書館では専用のファレンスカウンターを作るので、そこには職員が常駐するように考えている。

事務局 ご提案書の中にも、研修の細かいメニューをいただいている。今日はお手元に資料をご用意していないので申し訳ないが、口頭だけでお話しても、ご理解いただけないところも多いと思うので、次回の図書館協議会の際には、指定管理者が決まっている予定なので、今回のご提案についてまとめたものを皆さんにお配りするかたちにしておきたい。

(3) その他

会長 意見はあるか。

委員 意見なし

事務局 資料3、資料4についてはご覧いただきたい。

第1回 子ども読書推進計画評価等会議

(1) 平成30年度子ども読書活動実態調査について

事務局 ※資料5の説明

資料の量が多いので、3月の図書館協議会でご意見、ご感想をいただきたい。
そこでいただいた意見は、来年度の子ども読書活動、指定管理者の運営の中で
活かし、展開できたらと思っている。

会長 意見はあるか。

委員 小学校 1-オ「国語の授業等で単元に関係する参考図書の紹介をしている」
とあるが、昭島市は国語の教科書は、どこを使っているのか。

会長 光村図書である。

委員 国語の教科書の中で光村図書だけ、それぞれの単元ごとに本の紹介している。

会長 他の教科書は、資料として最後にまとめてある。

単元ごとに出しているのは、光村図書だけ。

委員 小学校1年生は生活科があるが、それもそれぞれの単元ごとに本を紹介してい
る。教育出版かな。それは非常に多彩な内容の本の紹介をしている。そういう
教材を使っているのであれば、非常に素晴らしい教育内容を作り出して
いる。素晴らしいことだと思う。

国の特別地方交付税を各自治体に配付するらしいが、古い本が多すぎるから、
7割は新しい本に切り替えろという。それは今回の議題に関係ないが、その辺
の本の整備について盛り込まれていればと、資料を拝見して思った。

会長 それはまた次に活かしていただくということで。

委員のおっしゃるとおり、国語は光村図書だが、どの教科書会社も一覧を作り、
それを学校に持って行っていると思う。

市民図書館にお願いすると、必要な本を団体貸出で揃えてもらえるし、各学校
には支援員、司書が週1回は必ず来ているので、その方を通し、担任がいろい
ろ出して準備している。生活科に限らず、自校にない必要な資料を市民図書館
や他校から借りるというシステムが、ある程度周知されているので活用されて
いると思う。委員がおっしゃった7割程度の本が捨ててあるらしいというのは、
学校の悩みでもある。図書館も一緒かと思うが、古いものは子どもが手を出さ
ない。

事務局 団体貸出については、市内の各施設、学校で多く利用していただいている。

300冊まで3ヶ月間借りていただけるので、学校の授業、学級文庫に使っていただ
いている。今回のアンケート「図書館との連携」の中で、学校で使う本はど
んな本が欲しいか？という質問がある。修学旅行の本を300冊、30冊、100冊
など、いろいろなご要望があり、そのようなことを参考にしながら蔵書を作っ
ていきたい。どの学校も「修学旅行の本をまとめて用意してほしい」「調べ学

習に役立つ本を団体貸出してほしい」という要望が多くある。

- 会 長 本多委員はいかがか。
- 委 員 今のお話のような、教科書がどうなのか全然わからないが、新図書館も含め、図書館全体について僕らに考えられること、一番の問題は、全市民が来やすいサービスを受けられるかどうかであり、個々の問題については、個々の担当者がやればいいのか、と思う。いつも思うが、学校、子どもたちの問題については割合議論になりやすいが、中高齢になると、まるであたかも本を読まないかのような扱いになっている。問題提起すらない。
- これからの時代を考えた場合、最も多いユーザー層、50、60、70 歳代、あるいはそれ以上、そういう人たちに対するサービスを年に一度くらいは議論する必要があるのではないか。僕も70歳を過ぎているが、勉強したり本を読んだりすることは、ずっとやり続けることだと思う。そういう人は、僕らの世代に結構多い。だが、僕らの世代だと、図書館は受験勉強のときに行く傾向だったものだから、利用したり活用したりすることはあまりないので、いろいろなサービス、仕掛けを作ったり、広報をうまく活用したりした方がいいような気がする。
- 会 長 とてもいい提言だと思う。中高齢者向けのサービスの視点もいろいろ考えていただければ。とても大事なこと。
- 事 務 局 私も委員がおっしゃった年代の方の利用が一番多いと思っている。居場所作りなども非常に大きい。図書館協議会だけではなく、他の協議会、教育委員会でも「中高年のこれからの社会教育、学習にどう取り組むか、ということに手当てをするのが一番大事ではないか。」というご意見をいただいている。それもこの図書館の使命だと思う。
- 委 員 高齢者は勉強が好き。僕の知り合いの宮沢町の方々は何をしているかという、家庭菜園。「どう？」と聞くと「面白い」と言うが、本当はそんなに面白くない。だから2～3年しか続かない。でも読書は続く。
- 委 員 高齢になったときの図書館に行くための方法。Aバスが新図書館を通過して市内を巡ってくれたら、利用者はすごく集まると思う。
- 事 務 局 予算のこともあるのではっきりは申し上げられないが、このことは市でも話題には上っている。何が必要かという、やはりそこだろうと。いろいろ検討してまいりたい。
- 会 長 どのように進むかわからないが、提案してもらえるといい方向に。
- 委 員 行きやすくしていただきたい。ここの図書館もそうだが「お茶を飲めたらいいよね。」などと言っている。お茶は有料でいいのだが、やはり足の問題。どうやって行ったらいいのか。場所はわかっているから、一番いいのはAバスだと思っている。階段一つで行かなくなってしまう。
- 委 員 立体交差があるが、狭くて危ないから、結局、危険な踏切を渡るようだ。

- 会 長 是非ご検討していただきたい。
- 事 務 局 カフェも予定されていて、蓋付きのものであれば館内でも読めるように計画されている。中高年 50 歳以上の方の図書館利用が増えていて「図書館に行ってくる。」と言うと、家族の方も好意的に「行ってらっしゃい。」と言ってくれる。出かけないと「今日は行かないの？」というような反応がある、という新聞記事を読んだ。人口の中で占めるボリュームも増してきているので、どれだけ使っていたか、というのがこれからの図書館の使命だと思っている。一つには子ども読書活動、これも欠かすことの出来ないものであるが、それと同等に、やはり全てのライフステージで活用していただく図書館を目指していきたいと思っている。そのためには、やはり、図書館協議会でのご意見が重要になってくるので、活発にご意見をいただければ、可能な限り汲み取ってまいりたいと思っている。
- 委 員 私は立体交差のそばに住んでいるが、立体交差の坂道は自転車すごい勢いで来るので、かなり丈夫な体の方でないと思われ危険を伴うと思う。階段側は急な階段で、かつ、暗くて汚い。水はけが非常に悪く、大雨が降ると、しばらく水溜りだらけになる。そこはおそらく市の管轄ではないと思うが、新しい図書館ができる頃までに、もう少し行きやすくなるといいと思う。
- 事 務 局 ご意見をいただいている、都に働きかけはしているが、なかなか改善されず申し訳ない。都市整備部に伝えておく。
- 委 員 高齢者は長生きになってきた。60 歳くらいから視点がガラッと変わる。僕も、人生がこんなに変わるかと思うくらい人間が変わった。スーパー人間。行きたい所も食べたいものもなくなってしまうが、本だけは、若いときに読んだものが好き。それから新しいことを知りたい。だから図書館を変な使い方はしないと思う。中には、来て一日中寝ている人もいるだろうが、小遣いが少ないから本が買えない。だから図書館に行きたいが、足の問題や通道路の問題で行けない。来たい人はいっぱいいるから是非何か仕掛けを作って、来やすくしていただいたらいいと思う。
- 委 員 10 月 13 日にNHKスペシャルで図書館と高齢の問題を放送していて、一番図書館の多い山梨県は、一番長寿だとか。図書館は長生きのためにはすごくいい施設だと。
- 委 員 今、いろいろな学校に関わっていて、子どもたちを見ていて感じることもある。子どもたちはとにかく発言をしない。大人しい。自慢に思っていることは、知識を「〇〇について、これだけ知っている。」という考え方。だから先生をバカにする。たとえば、鉛筆について、スマートフォンについてなど、知っていることの足し算。でもそれは教育ではないし、全然違う。本来は「これについて知らない、あれについて知らない。」だから学校で習う。そうすると、先生方に

対してリスペクトする。知らないことを知っている人だから。だが、今の子供たちの態度は違う。「知らないの？先生」となる。全く逆である。何が関連しているかという、スマートフォンで画面を見ていると、既に知っていることばかりである。本は、次を読まないとわからないから、知らないことがどんどん出てくる。大串委員が先程おっしゃった調べ物もそう。「知らない」ということがまずモチベーションにならないといけない。「知っている」だとやらないから、是非、図書館で小さい子どもからおとなまでみんながいろいろ活用できるように仕掛けていただきたいと思う。

(2) その他

会 長 意見はあるか。

委 員 意見なし。

以上